

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年 9月 19日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4690300142号
法人名	社会福祉法人徳徳会
事業所名	コーポラスいちなりの郷
所在地	鹿児島県鹿屋市輝北町市成2124番地1 (電話) 099-485-1300
自己評価作成日	平成24年9月19日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年11月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

現在いちなりの郷では、社会福祉法人の取り組みとしてISO9001・苦情10002及び学習29990を取得し日頃の業務改善につなげています。日頃のケアは年間の目標を地域との交流にて設定し利用者様のケアを行っています。スタッフ間の目標も設定しチームワークの強化に取り組んでいます。また外出も多く全員で外出したり個別に外出したりとしながら生活していますが、開所してから毎年一泊旅行や日帰り遠足など試みて少しでも安心した生活ができるようにと工夫しています。食事については、家庭的な食とと事を目標にしていますが、月間献立作成を行い栄養士の指導のもと提供しています。入浴についても私達が日頃、毎日入浴するように利用者様も毎日入浴しています。建物は木造平屋建ですが、環境にやさしいジオパワーシステムと、設置義務はないですがスプリンクラーの設置をし安全対策をしています。

旧輝北町のどかな田園風景が広がる地に建てられている当ホームは、自然環境に恵まれ、リビングからの眺望も良く、周辺は四季を感じながらの散歩コースに最適である。また、ホーム内は地熱を利用したジオパワーシステムにより利用者へ快適な生活環境を提供している。

法人は他にも介護老人福祉施設・デイサービス・訪問介護事業所・医療機関などを運営しており、医療・福祉面からのバックアップ体制を充実させて、利用者・家族からの安心と信頼を得ている。また、法人全体として顧客満足の向上を目指しており、お客様相談室を設置して寄せられた意見・要望の件数と改善内容を法人の通信誌にて広く開示している。職員育成についても、研修や勉強会に専門的分野からの講師を招き内容の充実を図り、資格取得の支援にも力を入れて現在、介護福祉士6名・ケアマネ1名・他にも調理士の資格者などほとんどの職員が有資格者で知識と経験を活かした質の高いサービス提供が行われている。

地域との交流も活発で日常的に家族、友人知人の訪問も多く、ホームでの味噌作り・餅つき・あくまき作り・そば打ちなどの恒例行事には毎回多くの地域協力者が訪れ、利用者・家族と共に楽しみながら行われている。

日常の散歩や個別の外出支援(墓参り・自宅訪問・外食など)、外出レクリエーション(季節の花見・地域行事見学・くだもの狩りなど)、住み慣れた地域とのふれあいを目的とした社会資源見学(支所・保育園参観・小学校授業参観・製茶業など)に出かけ、出来るだけホームに閉じこもらない生活を支援している。また、カラオケや毎年、全員で一泊旅行にも出かけており、利用者の楽しみとなっている。

日常の関わりや会話、毎週の「利用者の集い」で思いや意向の把握に努め、可能な限り思いを叶えられるように職員体制を工夫して利用者主体のケアに努めている。

ホーム内に活気があり、利用者の表情も明るく、職員は利用者が安心して日々を楽しく暮らせるように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、施設のフィロソフィ唱和と目標の掲示にて共通認識を図っている。	法人全体の基本理念と「品質目標」「労働安全衛生目標」「苦情処理目標」についてグループホーム独自の年間努力目標を作成している。名札や職員手帳に記載し、朝礼で唱和して理念及び目標の共有と実践に繋げている。理念及び目標は事務所内に掲示している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	毎月、地域の職場等へ出向きふれあい活動を行っている。	法人自体が地域に密着した取り組みに力を入れており、グループホームも地域交流が盛んに行われている。日常的に気軽に地域の方々が訪れ、ホームの敬老会や味噌作り、あくまき作りなども利用者と共に楽しんでいる。利用者も地域の運動会に参加したり、毎月、地域ふれあい活動として保育園・小学校参観、地域資源見学などにも出かけている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会での事例報告や在宅部門と連携し認知症サポーター講座を開催している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回開催し活動状況、目標の進捗報告をし意見をうかがっている。	校区公民館長・消防団長・婦人部代表・民生委員代表・地域協力隊長・学識経験者・家族代表・行政などの幅広い参加者を得て2ヶ月に1回開催している。味噌作りも地域より家族も一緒にとの提案が出て実現に至るなどさまざまな意見・提案が活発に出され運営やサービス向上に活かされている。家族への議事内容の報告は家族会時に行っている。	

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会に来ていただいているが、その他は事務連絡のみである。	毎回、運営推進会議にも出席が得られており、情報交換やホームの取り組み状況など積極的に伝えている。教職員研修の受け入れや高齢の祝いに市役所職員が訪れることもある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束・虐待防止の勉強会を法人で実施している。またミーティングなどにて理解を高めるようにしている。	身体拘束廃止委員会を設置して毎月、検討会議を行っている。重要事項説明書・運営規定・契約書に「原則として入居者の自由を制限するような身体拘束を行わないことを約束します」と明記されており、法人全体としても、いかなる理由があっても拘束はしないケアの実践に取り組んでいる。ホームでも全職員に向けた定期的な勉強会や他にも機会を捉えては職員間で話し合いを行って正しく理解できるように努めている	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束・虐待防止の勉強会を法人で実施している。またミーティングなどにて理解を高めるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在事例はないが権利擁護について勉強会など不定期に実施している		

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明の徹底や家族会の開催及びご意見箱の活用と同時に面会に来られた時にお聞きしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時でのご意見の有無確認や家族会及び運営推進会での意見を聞いている。</p>	<p>お客様相談室を設置して家族が意見・要望を表しやすいように法人全体で取り組んでいる。出された意見などは件数と改善内容を法人の機関誌で報告している。ホームでも利用者、家族からの声を拾い上げ原因究明や検討内容など「チャンスシート」として作成してサービスの質の向上に努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的なミーティングを行い職員の意見、提案を聞く機会を設けている。</p>	<p>朝礼時、毎月のミーティングなどで職員の意見・提案を話し合う機会としている。職員からは利用者のケアや外出・行事、業務改善、環境改善などの意見・提案などが出され、サービス向上と運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>常時、管理者会議での話合いや就業規則を必要に応じて変更し説明と是正を行っている。</p>		

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人での年間教育及び外部講師を招いての教育、またエルダー制度によるトレーニングをしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協議会などへの加入はしていないが研修会には参加したり市の開催する会議などで情報を得たりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始する前ホーム見学を行い説明など行い不安を解消している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始する前ホーム見学を行い説明など行い不安を解消している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自立支援を念頭に説明し、他のサービスも説明している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様会議を定期的を開催し、役割も持って頂き共同生活の向上を図っている。		

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム外出以外での家族による外出や食事会の開催を提供している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅や墓参り外出などの提供している。友人等に来て頂くようにしているが全員ではない。	日常的に地域の友人・知人の訪問も多く、訪ねやすいように配慮している。また、本人の希望や日常の会話の中で聞き出した関わりのある場所へは毎月の地域ふれあい計画にも入れ込んで出かけられるように支援している。他にも個別で墓参りや友人宅へも同行するなどなじみの関係継続の支援が行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の会議を通してお互いが意見を言えるように工夫している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設へ移られた場合も生活の様子を聞いたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	新規や認定更新時期や半年での意向を伺っている。	日常の会話や関わりの中で思いや意向を把握し、毎週の「利用者の集い」でも希望などを聞きとっている。意思疎通の困難な利用者に対しても見逃さないように心がけ思いや希望を把握するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	メンタルケアシートにて入所以前の情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活の中で本人のペースや動きなど観察し能力を見極めるケアをしているが完全ではない。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングなど通し必要に応じて本人・家族の要望や意見を聞いているが本音がつかめないこともある。	本人、家族の希望や意向、関係者からの情報を基に本人がより良く生活ができるように詳細でわかりやすい内容の介護計画が作成されている。これまでの生活歴を活かした支援やなじみの人や場所との関係継続の支援、社会との交流を回復するための支援など地域密着型サービスとして個別性のある介護計画である。経過記録や関係者の意見を基に必要に応じて見直しを行い、変化がなくても定期的(6ヵ月)な見直しを行って現状に即した介護計画を作成している。	

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活状況や健康状態やど記録し計画時に反映できるように工夫はしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その場で柔軟な対応が出来るようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を活用した外出をしながら心身の活性化と安心した環境を支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回医師に往診して頂くことと、医師の説明などして頂いている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診支援を行っている。併設医療機関とは24時間連携が図られており、定期的な医師の往診もある。医療連携体制を充実させて利用者の密な健康管理が行われており、家族の安心に繋がっている。また、受診は職員が同行して情報に相違がないようにし、受診の報告は随時電話にて行っている	

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎朝、併設診療所を交えたミーティングを行い心身状況を報告している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院した場合は、適度な病院訪問先での情報の共有化を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期の在り方についての話し合いをしている。</p>	<p>重度化や終末期におけるホームの方針については入居時に口頭で説明している。入居後は身体状況に応じて医師の判断の基家族と方向性を話し合っってホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。緊急時の搬送先についても家族の希望を聞いて個人記録に明記している。現在、看取りケアについてホームの支援を再検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>施設内での医療職によるOJTなど実施している。</p>		

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練や自主訓練を通し対応できるように工夫している。また地域協力隊の支援も受けている。</p>	<p>年2回定期的な避難訓練を行い、夜間の地震を想定した訓練も行っている。地域協力者の確保もできており、ホームの夜勤者は一人であるが、隣接する施設との協力体制は築かれており、見回りの当直者もいる。スプリンクラーは設置済みで停電時には発電機も準備してある。非常時の備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	フィロソフィの読み合わせや施設内の接遇勉強会参加をしているが、まだ意識付けが必要である。	法人全体でも特に力を入れていることであり、職員手帳を常に携帯して読み合わせや勉強会などを行って意識付けを行っている。また、業務の中でも気づいたら職員間で注意し合い、ミーティングで話し合うこともある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の声かけを通し希望を取り入れるようにし、また選択肢など自己決定できるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の集いや週1回の利用者様の会議にて希望・要望を聴くようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみは気をつけているがおしゃれは外出時などのみである。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けなどして頂いている。また職員と一緒に食べている。	家庭菜園の収穫を楽しんだり、味噌作りやあくまき作りなど利用者のアドバイスをもらいながら共に行っている。ときには気分を変えて外食や手作り弁当持参で季節の花見などにも出かけている。他にも、手作りの誕生日ケーキ、バイキング料理、重箱に詰めてカラオケに行くなど「食」が楽しめるようにさまざまな趣向を凝らしている。	

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月間の献立を栄養バランスを考え作成し併設の管理栄養士に確認してもらっている。またNSTミーティングも行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後ポッカレモンでのうがいと歯磨き、週1回のポリデントを実施している。必要時の歯科受診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ゆりりん使用し快適な排泄介助の取り組みを行っている。	利用者全員、昼夜間共布パンツで過ごしている。尿意の訴えがない利用者には医療機器を使用して定期的に尿量を計測し、トイレ誘導を行っている。また、半数以上の利用者が自立しており、維持できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の牛乳・ヨーグルトの提供と必要時のファイバー・オリゴ糖の提供をしている。		

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴である。入浴したくない時は希望に合わせて提供するようにしている。	入浴は基本的には毎日であるが、本人の希望や身体状況、外出行事の際は臨機応変に柔軟な対応をしている。今後は利用者を楽しんでもらえるように近隣の温泉施設の利用も検討している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝についてはほぼ同じ時間帯であるが、巡視することで安心して頂けるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬はルール化し薬情、くすり手帳の管理をしている。また毎日医師に症状を伝達している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別の取り組みをしているが不完全である。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の機会を多く設け本人の希望を引き出せるような取り組みをしている。	ホームに閉じこもらない生活の支援に力を入れており、職員の見守りで日常の散歩など瀬回に行われており、利用者は自由に玄関を出入りしている。個別支援の外出(墓参り・自宅訪問・外食など)や外出行事の季節の花見、くだもの狩り、地域行事見学、ホテル見学、駅伝応援などへ出かけ、地域ふれあい活動として毎月、小学校、保育園、支所、農協などの地域の社会資源などへも出かけるなど地域交流を兼ねた外出支援にも力を入れている。また、弁当持参でカラオケに出かけたり、毎年、全員で一泊旅行もしており、利用者の楽しみになっている	

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭は紛失が心配の為預からず、本人の希望や必要に応じて事務所より立替で頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時や贈り物が来た際に電話連絡をして頂くように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>採光や雑音は注意して空間づくりをしている。また環境にやさしいジオパワーシステムを導入している。</p>	<p>共用空間は広く明るくリビングから直接テラスに出ることができるので開放感がある。昼の間には掘りごたつがあり、冬は利用者の昼寝でも活用されている。また、廊下にもソファが置かれ、利用者はそれぞれお気に入りの場所で過ごしている。また、地熱を利用した床暖房は自然の温かさで快適な生活環境を提供している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホーム内での人間関係や希望を考慮した居場所の工夫をしている。</p>		

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを利用できるように工夫しているが、個人差がある。	木のぬくもりを随所に感じられる居室は地熱を利用した床暖房で年間を通して室温が一定している。洗面台も設置されて整容の自立に結びついている。ベッド、寝具類、タンス、位牌、テーブル、座イス、家族の写真、飾り物など本人が居心地良く過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	認知症の症状によっては場所の表示や、役割分担表など掲示し工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 コーポラスいちなりの郷

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない